

-(으)ㄴ 새 없이

～する間もなく

5級の -(으)ㄴ 거름이 없다 と近い余裕のなさを示します。새 は「隙間」を意味します。

■ つけ方

語幹	形	例
パッチムなし	-ㄴ 새 없이	쉬다 → 쉴 새 없이
パッチムあり	-을 새 없이	آمد → 았을 새 없이
よく使う形	실 새 없이	休む間もなく
副詞的に使う	실 새 없이 -다	絶え間なく
近い形	-(으)ㄴ 거름이 없다	5級の項目
分かち書き	새 は依存名詞	실 새 없이

■ -(으)ㄴ 거름이 없다 とどう違うか

余裕のなさを示します。실 새 없이 일했어요 (休む間もなく働きました)。

거름이 없다 との違いは形です。거름이 없다 が文末で断定するのに対し、새 없이 は副詞的に前に置いて後ろの動作を修飾します。

실 새 없이 が定番です。「絶え間なく」という意味で、副詞のように使われます。실 새 없이 울렸다 (絶え間なく鳴った)。

새 は「隙間」を意味する固有語です。사이 の縮約形で、時間の隙間を指します。

■ 例文

- 1

요즘은 눈코 뜰 새 없이 바쁩니다.
最近は目が回るほど忙しいです。
- 2

주문이 밀려 실 새 없이 손을 놀렸다.
注文が立て込んで、休む間もなく手を動かしました。
- 3

비가 그칠 새 없이 사흘을 내렸다.
雨がやむ間もなく、三日間降り続けました。
- 4

숨 돌릴 새도 없이 다음 일이 이어졌다.
一息つく間もなく、次の仕事が続きました。
- 5

직접 만들 새 없이 주문이 들어옵니다.
自分で作る間もなく、注文が入ってきます。
- 6

생각할 새 없이 몸이 먼저 움직였다.
考える間もなく、体が先に動きました。

■ 紛らわしいもの

-(으)ㄴ 거름이 없다
文末で断定します。새 없이 は副詞的に前に置きます。
실 거름이 없어요 (断定) / 실 새 없이 일했어요 (修飾)

-자마자
「するとすぐ」で直後を示します。새 없이 は余裕のなさです。
도착하자마자 (直後) / 실 새 없이 (余裕なく)

끊임없이
「絶え間なく」という副詞です。실 새 없이 と近い働きです。
끊임없이 노력하다

■ まちがえやすい点

- ✕ 실새 없이

○ 실 새 없이

새 は依存名詞なので分かち書きします。
- ✕ 실 새 없다

○ 실 새 없이

副詞的に使うのが基本です。
- ✕ 좋을 새 없이

○ 形容詞には使いにくい

動作の余裕のなさを示します。